

休日当番医など(8月1日～9月15日)

地域医療課 ☎27-8572

休日 当番医

※症状によっては、専門外となる場合もありますので、不明な場合は、当番医療機関へお問い合わせください。

8月1日(日)	門屋整形・内科 こうじま慈愛病院 比佐医院	9時～17時	小名浜鳥居北 錦町	54-4047 63-5141
8日(日)	中央台たなか眼科 洋向台クリニック 矢吹病院 いわき湯本病院	9時～17時	中央台高久 洋向台 佐糠町 常磐湯本町	29-1722 55-5150 63-1818 42-3188
9日(月)	中村病院 おおはらこどもクリニック 常磐病院	9時～17時	小名浜大原 東田町 常磐上湯長谷町	53-3141 63-0001 81-5522
13日(金)	見城整形外科クリニック	9時～17時	中央台飯野	28-3985
14日(土)	本町通りクリニック	9時～17時	平四町目	24-7830
15日(日)	なかにし内科クリニック 石井脳神経外科・眼科病院 櫛田病院 かとう内科クリニック	9時～17時	平北白土 小名浜林城 植田町 常磐西郷町	21-8181 58-3121 63-3202 72-0072
22日(日)	かしま病院 呉羽総合病院 さかもと内科胃腸科クリニック	9時～17時	鹿島町下蔵持 錦町 常磐関船町	58-8010 63-2181 72-2022
29日(日)	みちや内科・胃腸科 なこそ病院 吉成内科	9時～17時	小名浜住吉 勿来町 常磐上湯長谷町	58-4180 65-7755 42-2220
9月5日(日)	磐城中央病院 櫛田病院 常磐病院	9時～17時	小名浜南富岡 植田町 常磐上湯長谷町	53-3511 63-3202 81-5522
12日(日)	石井医院 こうじま慈愛病院 いわき湯本病院	9時～17時	小名浜本町 錦町 常磐湯本町	54-5330 63-5141 42-3188

日曜 小児専門当番医 9時～12時

8月	1日	やまぎわこどもクリニック	郷ヶ丘	28-8686
	8日	福田小児科医院	平下荒川	22-4272
	22日	森のこどもクリニック	植田町	38-7227
	29日	こない子供クリニック	小名浜岡小名	73-8815
9月	5日	しがこどもクリニック	鹿島町久保	58-5505
	12日	こどもクリニックすずき	泉町	56-6336

休日夜間急病診療所【内科・小児科】
総合保健福祉センター隣 ☎27-1208
平日：20時～23時 土曜日：19時～23時 日曜日：14時～18時、19時～23時 祝日、8月9日、13日・14日・15日：9時～13時、14時～18時、19時～23時
※患者・医療従事者間における新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、同感染症・インフルエンザの検査は実施していません。

休日救急歯科診療所
総合保健福祉センター内 ☎27-8620
日曜日、祝日、8月9日、13日・14日・15日：9時～12時、13時～16時（受付終了時間15時30分）

※変更となる場合がありますので、事前に当番医療機関、または消防署(☎23-0119)へお問い合わせください。市ホームページでも公開していますので、ご覧ください。

休日 診療協力医 ※休日当番医の場合は、左表に記載しています。

【内科】
山口医院 (平作町) 9時～17時 ☎24-1811
8月1日 9月5日
須田医院 (小島町) 8時30分～12時 ☎27-6060
8月8日・9日、13日、22日、29日 9月12日
【整形外科】
吉田整形外科医院 (平研町) 9時～12時 ☎22-6030
8月9日
【泌尿器科】
常磐病院 (常磐上湯長谷町) 9時～15時 ☎81-5522
8月1日、8日、13日・14日・15日、22日、29日 9月12日
【眼科】
中央台たなか眼科 (中央台高久) 9時～14時 ☎29-1722
8月1日、22日、29日 9月5日、12日
西山眼科医院 (四倉町) 8時30分～12時 ☎32-3722
8月13日
【皮膚科】
金生皮膚科医院 (平三倉) 8時30分～15時45分 ☎22-2378
8月9日
【婦人科】
いわき婦人科 (内郷綴町) 9時～12時 ☎27-2885
8月14日
※この他にも休日に診療している医療機関がありますので、あらかじめかかりつけの医療機関などで確かめてください。
※診療の受け付けは、診療終了時間の30分前までとなります。

☎024-521-3790または
#8000 (プッシュ回線・携帯電話)
毎日 19時～翌朝8時

かかりつけ医を持ちましよう

かかりつけ医の紹介・相談やこれまでの掲載内容は、医師会事務局へ(ホームページURL <https://www.iwaki.or.jp>)

救急車は適正に利用しましよう

市民の健康教室



提供・問い合わせ
(一社)いわき市医師会
☎38-4201

新型コロナウイルス感染症と一般診療

二〇一九年末から世界中に広がった新型コロナウイルス感染症は今、日本の医療と経済を大きな危機に陥れています。感染流行が一年半の長きに及び、ウイルスは遺伝子変異を起こして、その感染力や重症化に変化が生じてきています。

感染症対応病床は元々、感染症指定医療機関のみに設定してありましたが、感染拡大による病床不足のため、行政からの要請により、複数の救急病院が一般診療のための病床を感染症対応病床に変換し、感染者の入院・隔離に対応しています。そのため、徐々に一般診療にしわ寄せが出てきています。

一般診療と動線が重ならない緩和ケア病棟を感染症対応病床に変換した施設の投書には「最期まで緩和ケア病棟で安らかに過ごさせ

たかった。命の選別をされたような思いになりました」という言葉がありました。ご家族だけでなく、懸命にケアしたスタッフの皆さんも、心を痛めたことと思います。テレビで報道されている都市部だけでなく、わがまちいわきも、感染しても入院できないということが現実化してきています。最近では、若い世代でも命を落とす報告が出てきています。病院スタッフの疲弊も強まっています。この感染症からまちを守るためには、飲食店などへの営業制限だけでなく、できるだけ多くの市民がワクチン接種を受けて集団としての免疫を獲得し、われわれ市民の一人一人が力を合わせて、職場や学校、家庭内での感染を起こさないような注意を今後も継続していくことがとても大切です。

総合診療科医療録⑤

けんこうQ&A

消化器科⑤

大腸がん

Q 便潜血反応が陽性でした。どういうことですか？
A 便の中に微量の血液が混じっていたということ。さまざまな大腸の病気、例えば大腸がんやポリプ、炎症などの発見に役立ちます。Q どのようにして診断するのですか？
A 大腸の中をカメラで見る検査(大腸内視鏡)を行います。病変があれば組織を取る検査(生検)を行い、顕微鏡で診断します。Q 治療法を教えてください。
A 進行度(ステージ)により、手

術や抗がん剤治療などを検討します。がんが粘膜内にあるなどの、がんの深さが浅い早期がんでは、大腸内視鏡でおなかを切ることなく切除することが可能です。Q 日常生活で注意することはありますか？
A がんの原因としては、加工肉や高脂肪食などの栄養の偏った食事や喫煙、飲酒などが挙げられます。また、家族に大腸がんの方がいる場合は、より注意が必要です。大腸がんは、初期段階ではほとんど症状がありません。積極的な検診をお勧めします。

萎縮性膣炎

「おしっこが近くトイレに合わないことがある」という症状で医療機関を受診し、尿検査で膀胱炎や過活動膀胱として治療が試みられることが多いですが、治療しても症状が改善しないため総合診療科を受診されるケースがあります。もしも、閉経後の女性で、陰部の乾燥感やかゆみを伴う場合、萎縮性膣炎の可能性があります。婦人科を受診し、適切な治療を受けると症状が改善する場合があります。萎縮性膣炎は、女性ホルモンの分泌低下により、膣粘膜の萎縮や乳酸桿菌の減少などが起こり、自浄作用が低下するために生じるもので、閉経後の女性の約四十パーセントに症状が見られます。最も多い症状は、膣の乾燥感やかゆみですが、尿路の萎縮も起こるため、頻尿や尿意切迫感、切迫性尿失禁などの過活動膀胱に類似した症状も起こします。その他、過活動膀胱のような症状をもたらす疾患には、膀胱炎や膀胱がんなどもあり、それぞれ治療法が全く異なりますので、症状が改善しない場合は遠慮なく医師にその旨を伝えましよう。